

沼津市公共施設マネジメント計画の柱（想定）

公共施設マネジメント ＝ 将来を見据えた公共施設の最適化

○サービスの最適化の視点

施設の多機能化・複合化

民間事業者を含めた最適なサービスの検討

○量の最適化の視点

施設総量の削減（数値化）

新規施設の抑制

需要に合わせた施設の縮小・廃止

○コストの最適化の視点

民間資金を活用した施設整備・運営

未利用資産の有効活用

施設稼働率の向上

受益者負担の見直し

○性能の最適化の視点

施設の長寿命化

省エネやユニバーサルデザインに配慮した施設整備

アンケート実施概要

概要	
調査の目的	沼津市の公共施設について、現状に対する市民の理解度や利用頻度、将来の公共施設のあり方を明らかにする
実施時期	配布・回収：平成28年2月（予定） ※本審議会後に実施 第2回審議会にて結果をご報告
対象者	市内在住者から市にて無作為抽出
発送数	3,000人程度
調査方法	郵送による発送及び回収
回答方法	「本市における公共施設の現状について」をご覧いただいた上で回答

問1 あなたご自身のことについて、お伺いします。あてはまる番号 $\boxed{1つ}$ に○をつけてください。

(1)【性別】

1. 男性 2. 女性

(2)【年齢】

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳以上

(3)【お住まいの地域】

1. 西部地域(原・浮島・愛鷹) 2. 東部地域(金岡・大岡・門池)
3. 中央西地域(今沢・片浜・第二) 4. 中央地域(第一・第五)
5. 中央南地域(第三・第四・大平) 6. 南部地域(静浦・内浦・西浦・戸田)

(4)【世帯構成】

1. 単身 2. 夫婦のみ
3. 2世代(年齢が最も低い子が中学生以下) 4. 2世代(選択肢3以外)
5. 3世代以上(年齢が最も低い子が中学生以下) 6. 3世代以上(選択肢5以外)
7. その他()

(5)【職業】

1. 自営業 2. 勤め人 3. パート・アルバイト 4. 学生
5. 無職(専業主婦・主夫、年金生活など) 6. その他()

問2 あなたは公共施設マネジメントの取り組みに対して関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、理由も記入してください。

1. 関心がある

(理由:)

2. 関心がない

(理由:)

問3 あなたのこの1年間の公共施設の利用状況について、次の表の施設分類ごとに該当する欄1つに○をつけてください。なお、「ほとんど利用しなかった」を選んだものについては、その主な理由を次の①～④の中から1つ選んで理由欄に記入してください。

ほとんど利用しなかった理由

①利用する機会がなかった ②設備・サービスに魅力がない ③施設を知らなかった ④その他



施設分類（施設例）		よく利用した	ときどき利用した	ほとんど利用しなかった	理由
1	コミュニティ施設（地区センター）				
2	学校教育施設（小学校、中学校、市立高校等）				
3	社会教育施設（図書館、博物館等）				
4	文化施設（市民文化センター、キラメッセぬまづ）				
5	歴史施設（御用邸記念公園、原帯笑園、松城邸）				
6	子育て施設（保育所、幼稚園、子育て支援センター等）				
7	高齢者福祉施設（老人福祉センター、デイサービスセンター等）				
8	その他福祉施設（ぬまづ健康福祉プラザ、千本プラザ等）				
9	医療施設（市立病院、戸田診療所、夜間救急医療センター）				
10	保健施設（保健センター）				
11	屋内スポーツ施設（市民体育館、プール、武道場） ※学校施設を除く				
12	屋外スポーツ施設（市営野球場、愛鷹テニスコート）				
13	観光施設（水門展望施設びゅうお、道の駅くるら戸田）				
14	その他産業施設（海水浴場、キャンプ場、少年自然の家等）				
15	庁舎施設（市庁舎、市民窓口事務所等）				
16	駐輪場施設（沼津駅周辺の駐輪場）				

問4 沼津市における公共施設マネジメントの取り組みを進めることで、どのようなまちになってほしいと思いますか。
あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に○をつけてください。

1. 環境にやさしいまち(環境への配慮)
2. 安全・安心で快適に暮らせるまち(災害への対応)
3. あたたかさに満ちた親切的なまち(地域コミュニティの推進)
4. 夢ある人を育てるまち(子育て支援)
5. 生涯いきいき暮らせるまち(保健・医療・スポーツの推進)
6. 心のかよい支え合いのまち(福祉の充実)
7. 魅力あるにぎわいのまち(魅力の発信)
8. 活力あふれるまち(商業、サービス等の振興)
9. 静岡県東部地域を牽引するまち(広域連携)
10. その他()

問5 あなたは沼津市における公共施設の数やサービスの内容についてどう思いますか。施設分類ごとに数とサービスの内容について、最も近いものをそれぞれ1ずつ選んで該当する欄に○をつけてください。

施設分類	施設の数について			サービスの内容について				
	多い	適正	少ない	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
1 コミュニティ施設								
2 学校教育施設								
3 社会教育施設								
4 文化施設								
5 歴史施設								
6 子育て施設								
7 高齢者福祉施設								
8 その他福祉施設								
9 医療施設								
10 保健施設								
11 屋内スポーツ施設								
12 屋外スポーツ施設								
13 観光施設								
14 その他産業施設								
15 庁舎施設								
16 駐輪場施設								

問6 今後、人口減少や少子高齢化が進むと想定される中で、将来の市民ニーズに対応させつつ効率的な公共施設の整備を行うためには、どうしたら良いと思いますか。次の考え方ごとにあなたの意見に最も近いものを1つ選んで該当する欄に○をつけてください。

考え方	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
1. 利用率の低い施設は縮小・廃止する				
2. 同種のサービスを提供する民間施設が充足している施設は廃止する				
3. 施設内の余剰スペースに他の機能を受入れるなど、既存施設の有効活用を図る				
4. 施設整備をするときは、2つ以上の施設を複合化する				
5. 施設整備には、民間の資金やノウハウを積極的に活用する				
6. 市で施設整備するのではなく、民間施設を賃借する				
7. 適切な修繕をすることで、今ある施設をできるだけ長く利用する				

問7 将来の沼津市の姿を見据えた中で、あなたは公共施設の優先度をどのように考えますか。規模の縮小または廃止をしてもよいと考える施設分類を5つまで選んで番号を記入してください。

施設分類（具体的な施設例については問3をご覧ください。）							
1	コミュニティ施設	5	歴史的施設	9	医療施設	13	観光施設
2	学校教育施設	6	子育て施設	10	保健施設	14	その他産業施設
3	社会教育施設	7	高齢者福祉施設	11	屋内スポーツ施設	15	庁舎施設
4	文化施設	8	その他福祉施設	12	屋外スポーツ施設	16	駐輪場施設

--	--	--	--	--

問8 将来の沼津市の姿を見据えた中で、あなたは公共施設の*広域整備についてどのように考えますか。広域整備することが望ましいと考える施設分類を問7の施設分類から5つまで選んで番号を記入してください。

※広域整備とは、近隣市町と連携して市町の区域にとられない広域の施設として整備することです。

--	--	--	--	--

問9 公共施設の有効活用を図る上で、あなたは公共移設の複合化についてどのように考えますか。複合化することが望ましいと考える施設分類を問7の施設分類から5つまで選んで番号を記入してください。

問10 現在沼津市では、一部の公共施設の運営において※指定管理者制度や業務委託を導入し、民間事業者のノウハウやアイデアを活用して運営経費の削減等を行っています。今後、さらに民間資金を活用した施設運営を導入することについてどう思いますか。あなたの意見に最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 積極的に導入を進めた方が良い
- 2. サービスが向上するのであれば導入を進めた方が良い
- 3. 導入する施設を限定して、最小限にとどめた方が良い
- 4. 公共施設に関することは民間事業者には任せず、すべて市が行う方が良い
- 5. その他()

※指定管理者制度とは、公共施設の管理運営を、市が指定する民間事業者(民間企業・NPO等)に代行させることができる制度です。代行する民間事業者の創意工夫により、市民へのサービス向上と経費の削減を図ることが可能となります。
(沼津市では、コミュニティ施設、文化施設、高齢者福祉施設など47施設(平成27年4月1日現在)で指定管理者制度を導入しています。)

問11 本市には、小中一貫校化により閉校した小中学校など、施設の統合等により使わなくなった土地や建物があります。これら未利用の土地・建物の活用について、あなたはどのように考えますか。次の考え方ごとにあなたの意見に最も近いものを1つ選んで該当する欄に○をつけてください。

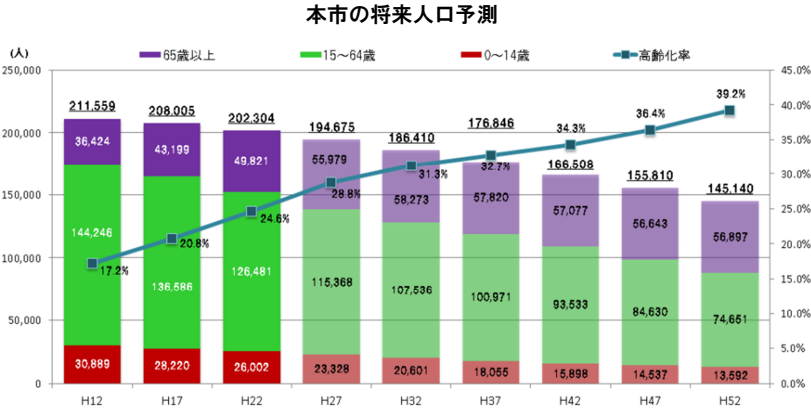
考え方	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
1. 市で活用する見込みの有無にかかわらず、未利用の土地・建物は、積極的に民間に売却する				
2. 市で活用する見込みのない未利用の土地・建物は、積極的に民間に売却する				
3. 将来的に市で活用する予定の未利用の土地・建物は、それまでの間、積極的に民間に貸し付ける				
4. 未利用の土地・建物であっても民間への売却や貸し付けは行わず、将来の公共目的での利用に備える				

問12 その他、アンケート内容や公共施設に関する市の取り組みについて、ご意見等ございましたらご記入ください。

◆公共施設を取り巻く社会情勢

全国の人口問題を研究している国立社会保障・人口問題研究(社人研)が公表した将来人口予測では、現在約 1 億 2 千万人である日本国の人口は 40 年後には、約 25%減少し、約 9 千 2 百万人となることが推計されています。

本市においても、平成 52 年には、現在の約 20 万人から約 14 万 5 千人に減少するとともに、少子高齢化の状況が進行し、公共施設の利用需要が変化していくことが予想されています。



◆公共施設数と分類 ※平成 27 年 3 月現在の情報です。

本市が保有する庁舎や学校などの建築物からなる施設（ハコモノ施設）350 施設 833 棟を、施設の設置目的や機能により、以下のように分類しました。

- ※民間建物の一部を借用している施設や、仮設事務所なども含みます。
- ※公衆トイレやポンプ小屋等の比較的面積の小さい単体の施設や、道路や橋梁、上下水道管等のインフラ施設は除きます。

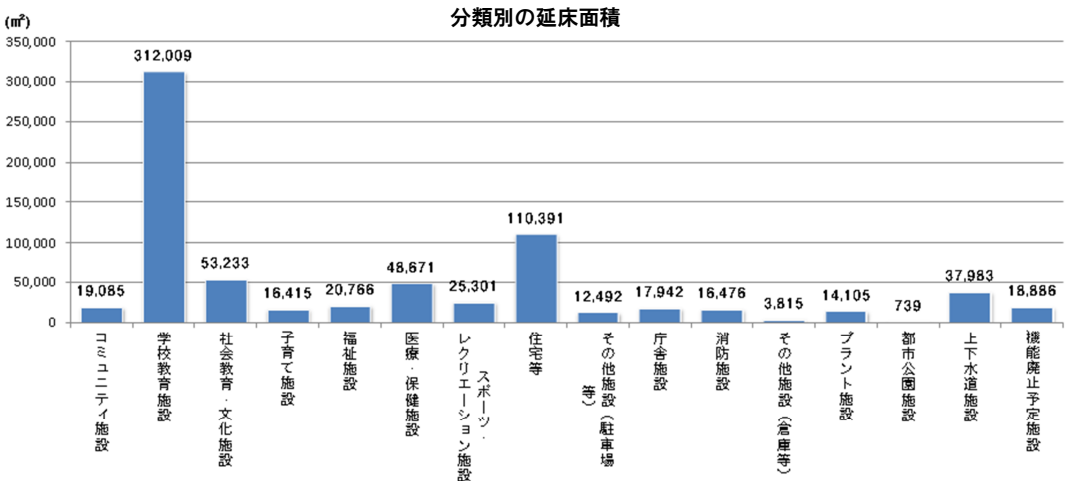
施設分類		主要施設	
Ⅰ 一般施設	市民利用施設	(1) コミュニティ施設 (25 施設)	地区センター等
		(2) 学校教育施設 (70 施設)	小学校、中学校、市立高校、看護専門学校等
		(3) 社会教育・文化施設 (14 施設)	社会教育施設 (図書館、博物館等) 文化施設 (市民文化センター、キラメッセぬまづ) 歴史施設 (御用邸記念公園、原帯笑園、松城邸)
		(4) 子育て施設 (45 施設)	保育所、幼稚園、子育て支援センター、放課後児童クラブ等
		(5) 福祉施設 (15 施設)	高齢者福祉施設 (老人福祉センター、デイサービスセンター等) その他福祉施設 (ぬまづ健康福祉プラザ、千本プラザ等)
		(6) 医療・保健施設 (5 施設)	医療施設 (市立病院、戸田診療所、夜間救急医療センター) 保健施設 (保健センター)
		(7) スポーツ・レクリエーション施設 (16 施設)	屋内スポーツ施設 (市民体育館、プール、武道場) ※学校施設を除く 屋外スポーツ施設 (市営野球場、愛鷹テニスコート) 観光施設 (水門展望施設びゅうお、道の駅くるら戸田) その他レクリエーション施設 (キャンプ場、海水浴場、少年自然の家等)
		(8) 住宅等 (33 施設)	市営住宅、職員住宅、医師住宅等
		(9) その他市民利用施設 (6 施設)	香貫駐車場、沼津駅周辺の駐輪場、斎場等
	行政系施設	(10) 庁舎施設 (16 施設)	市庁舎、市民窓口事務所等
		(11) 消防施設 (56 施設)	消防庁舎、分遣所、消防団詰所、コミュニティ防災センター等
		(12) その他行政系施設 (12 施設)	倉庫等
Ⅱ	プラント系施設	(13) プラント施設 (5 施設)	清掃プラント、衛生プラント等
Ⅲ	インフラ系施設	(14) 都市公園施設 (5 施設)	公園管理棟
		(15) 上下水道施設 (13 施設)	水道部庁舎、送水管理センター、浄化センター等
Ⅳ	機能廃止予定施設	(16) 機能廃止予定施設 (14 施設)	旧小学校、旧中学校、旧分遣所等

◆保有施設の概要

本市が保有する施設の概要は、次のとおりです。

○延床面積の状況

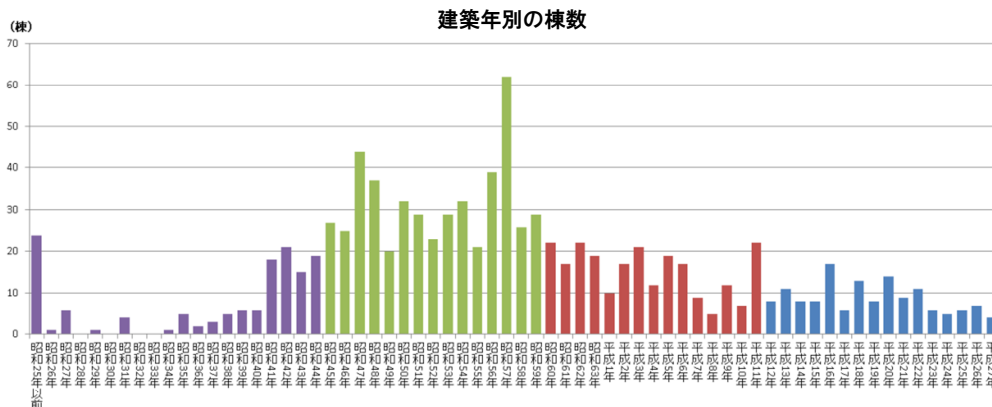
本市が保有する 350 施設の総延床面積は、約 73 万㎡となっており、学校教育施設、住宅等で約 6 割を占めています。



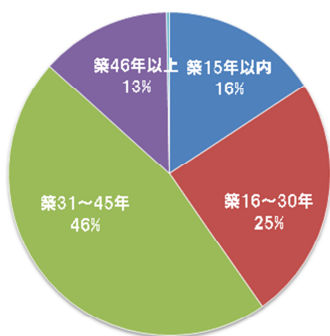
○建築年の状況

棟ごとの建築年数をみると、特に築 31 年から 45 年の建物が多く、全体の 46%を占めています。

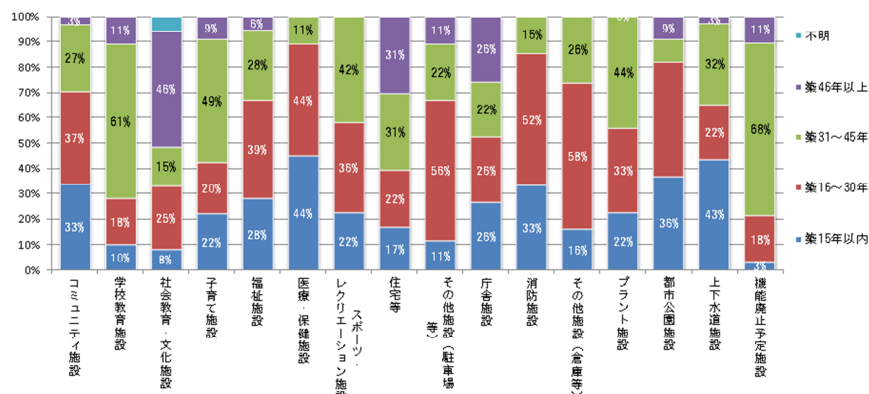
特に、学校教育施設と社会教育・文化施設は、築 31 年以上の建物が約 7 割を占めています。



全棟割合



分類別の築年数の割合



○建物の維持・更新コスト（大規模改修費、更新費の試算）

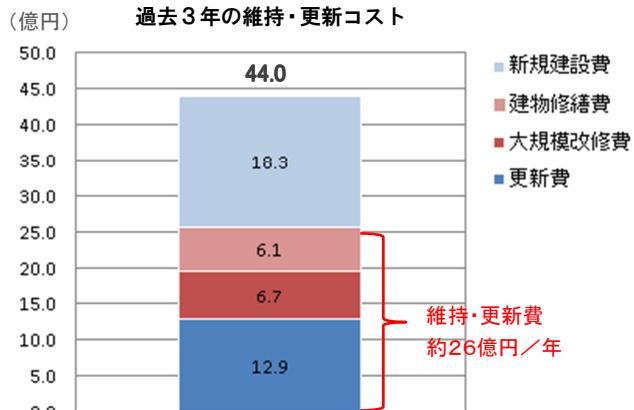
まず、平成 23 年度から平成 25 年度の過去 3 年間にかけてきた建設・維持関連経費は年間平均で約 44 億円でしたが、そのうち、キラメッセぬまづや門池地区センター等の新規施設の建設にかけた経費の約 18 億円を除くと、既存施設の維持や更新にかけた経費は年間平均で約 26 億円という状況でした。

一方、将来的に現施設をそのまま維持・更新するためのコストを、総務省が示している「公共施設等更新費用算出ソフト」の考え方に基き、大規模改修を築 30 年、更新を築 60 年で行うものとし、施設の用途ごとに単価を設定して算出しました。

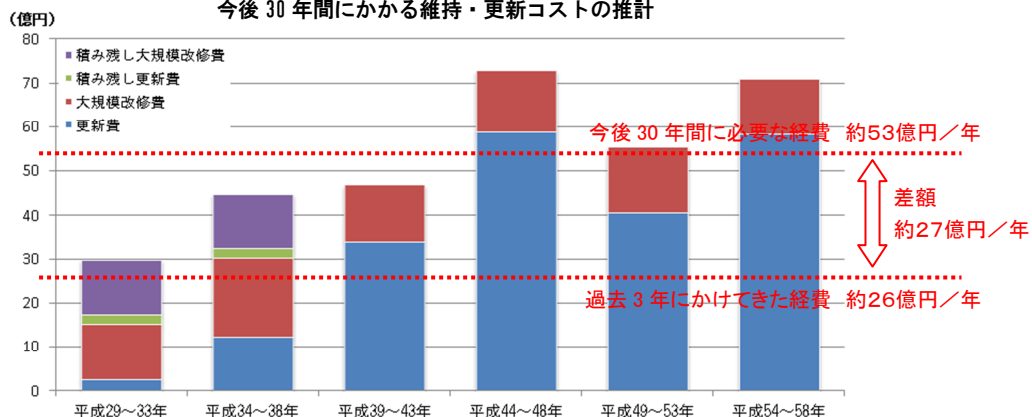
現時点で、既に大規模改修や更新をすべき時期が経過してしまった積み残し費が約 147 億円分あります。この積み残しを当初 10 年で行うものとし、現在の規模を維持したまま全ての施設を大規模改修・更新すると、平成 29 年から 30 年間にかかる将来コストは、年間平均で約 53 億円と試算されました。

※試算結果には、歴史的施設・機能廃止予定施設・上下水道や病院などの企業会計施設は除いています。

過去 3 年の維持・更新コスト



今後 30 年間にかかる維持・更新コストの推計



期 間	年平均の将来コスト (億円)
平成29～33年	30
平成34～38年	45
平成39～43年	47
平成44～48年	73
平成49～53年	55
平成54～58年	71
年平均	53

今後、全ての施設をそのまま維持するためには多額の費用を要することが想定され、また、人口減少や少子高齢化などに伴い変化する利用需要に的確に対応するため、公共施設の量やコスト、サービス、性能を最適化する、いわゆる「公共施設マネジメント」の取り組みを進めていかなければなりません。

公共施設マネジメント計画策定スケジュール(案)

